

発行・編集：多摩市永山地区ワークショップ世話役（永山団地自治会、UR都市機構、社会福祉協議会、中部地域包括支援センター、多摩市高齢支援課）

事務局：多摩市健康福祉部高齢支援課介護予防推進係



第1号

永

山

モ

テ

ル

# かわら版

～永山地区ワークショップ～

今こそ！わたしたちの底力 豊かに暮らす永山モデル

第1回永山地区ワークショップが5月13日に行われました

平成28年5月13日、第1回永山地区ワークショップが開催されました。

永山団地自治会、永山団地名店会、民生児童委員、福祉のネットワーク永山、保育園、幼稚園、小学校、中学校、医師会、UR、地域包括支援センターなど約40名の皆さんが集まり、活発な意見を出し合いました。

～話合いのテーマ～

- ・「永山の今」を自由に語る
- ・生活していて、あるいは活動していて感じていること
- ・困っていること、課題に思うこと など



## 永山地区ワークショップとは？

高齢化が進む永山地区において、見守り支援、居場所、生活支援、介護予防などを展開していく方法を自治会、NPO、市民団体などと連携し、一緒に考え、作っていくための話合いのことです！

# 永山の今

見守り

見守り・つながりが少ないと感じてい

- ・ 救急車を毎日のように呼ぶ  
自分の命を守る為に何度も呼ぶ
- ・ 近所の人には助けを求められない？
- ・ 民生委員の見守りはある
- ・ 家から出て人とつながる場が必要
- ・ 民生委員の見守り名簿に載っていない人は？  
隣人との付き合いが無い

生活  
支援

高齢者の生活を高齢者が支えている

- ・ 昼食の配達をしているのは高齢者
- ・ 普段の生活の支えと災害時の支え  
が必要だけど・・・

多世代  
交流

学校・保育園・幼稚園は何か高齢との交流など、できることはないかと思っている

- ・ 学校のお便りを地域の高齢者に届けられたら（課題：知らない人への訪問はしづらい、付き添う教員の不足など）
- ・ 子どもは地域で見守られている
- ・ 学校がコミュニティの中心という面もある（運動会など）

把握

外に出て来られない人はどうしているのだろう  
(分からない)

- ・ 要介護認定率が低いというが、実際はそんなことはないはず
- ・ 居場所をつくっても出てこられない人は？
- ・ あらためて実態を知ること必要か

多世代  
交流

高齢者は子どもたちとかかわりたいと思っている

- ・ 若い人がいるだけでうれしい
- ・ 高齢者がどう老いるのか知って欲しい

居場所

家から出て人とつながる場所が必要

## 個人情報の壁

永山ルールで壁を  
取り払う！

体調が悪いとき等手  
助けが必要な人をど  
う支えるか

普段の生活をどう支え  
るか

元気でいられるため  
に、楽しく出かけられ  
る場があるか

災害の時にどう支  
えるか

1. 見守り活動について
  2. 居場所について
  3. 生活支援について
  4. 多世代交流について
- これらの仕組みをみんなでつくる！

- ・ 地域包括支援センターの役割は？
- ・ 見守り拠点窓口とは？

次回のお知らせ

## 第2回 永山地区ワークショップ開催について

\* 日時：平成28年6月23日（木）10：00～12：00

\* 内容： 地域包括支援センターの機能を知ろう

第1回目で出た意見をもとに、どうあったらよいかを語ろう

**永山団地名店会への高齢者見守り相談窓口の開設に向けて、今後2～3回程度ワークショップを開催する予定です！**ご都合のつく方は、是非ご出席ください。お待ちしております。